

職務経歴書

2026年07月05日現在
BEOMSEOK KIM

■職務要約

バックエンドエンジニアとして約4年間、BtoB SaaSおよびDXプロジェクトにおいて、要件定義から設計・実装・運用まで一貫して担当してきました。

API・DB設計を中心に、ERP連携、インフラ移行、OCR・AIパイプライン開発など、システム全体を意識した設計・開発を経験しています。

■職務経歴

2023年04月～現在 Livit	
雇用形態	正社員
プロジェクト名	大手石油化学メーカー向けESG (LCA) データ基盤構築DXプロジェクト
期間	2026年03月～現在
職種	バックエンドエンジニア
役割	メンバー
チーム規模	1-10人
プロジェクト詳細	<ul style="list-style-type: none">顧客企業のインフラチームと連携し、サーバー構成（インスタンス調整、SSL証明書対応など）の設計・調整を実施業務要件の整理からデータ仕様の策定まで一貫して対応し、関係者との調整を推進ERP（SAP等）とのデータ連携におけるインターフェース設計および仕様定義を担当データストレージの選定・最適化を行い、システム全体のパフォーマンス向上に貢献チーム内のタスク分担や進行調整を担い、開発を円滑に推進技術面における意思決定を主導し、プロジェクト全体の進行を支援
利用技術	Nginx / GraphQL / MSSQL / Windows Server / NestJS / SAP / Claude Code
プロジェクト名	複数リポジトリの統合によるモノレポ移行及びインフラ基盤の刷新
期間	2026年03月～2026年03月
職種	バックエンドエンジニア
役割	リーダー
チーム規模	1-10人
プロジェクト詳細	<ul style="list-style-type: none">チャットボット・スクレイピング等の補助モジュールを分離・ライブラリ化し、モノレポ構成への移行を主導共通ユーティリティ管理の効率化および開発フロー改善を実施スクレイピングサーバー環境をAWS LightSailからRailwayへ移行CI/CDフロー改善および運用効率化を推進インフラ運用コスト最適化およびスケーラビリティ改善に貢献
利用技術	Docker / NestJS / Docker Compose / Claude Code
プロジェクト名	AIを活用したOCRデータ抽出パイプライン構築
期間	2025年12月～2026年02月
職種	バックエンドエンジニア
役割	メンバー
チーム規模	1-10人
プロジェクト詳細	<ul style="list-style-type: none">工場帳票からセメント使用量などの製品使用データを抽出するOCR・AIパイプラインの設計・開発を担当2種類のOCR APIの認識結果・信頼度・差分をAIへ入力し、補正・判定を行うパイプラインを設計AIによる補正・判定を組み込み、ルールベースでは対応困難な帳票レイアウトや結合セルにも対応OCR処理コストを約8～9円/件から約3～4円/件まで削減Claude Codeを活用し、設計・実装・リファクタリングを効率化
利用技術	AWS / Redis / GraphQL / NestJS / Vercel / Supabase / Claude Code / OpenAI API
プロジェクト名	インフラ・DBマイグレーションおよびサーバーレス基盤移行

期間	2025年07月～2025年08月
職種	バックエンドエンジニア
役割	リーダー
チーム規模	1-10人
プロジェクト詳細	<ul style="list-style-type: none"> - AWS LightSail環境からVercel・Supabaseへのインフラ移行を実施 - MySQLからPostgreSQL (Supabase) へのDBマイグレーションを担当 - pgloader、pg_dump、psql等を利用したDBマイグレーションを実施 - データ整合性を考慮した安全なマイグレーションフローを構築 - 事前環境構築およびドメイン切替によるダウンタイムを考慮した移行作業を実施 - サーバーレス基盤への移行を通じて、運用効率および保守性改善に貢献
利用技術	MySQL / PostgreSQL / Vercel / Supabase
プロジェクト名	ダッシュボード集計処理最適化およびキャッシュ基盤構築
期間	2024年04月～2024年05月
職種	バックエンドエンジニア
役割	リーダー
チーム規模	1-10人
プロジェクト詳細	<ul style="list-style-type: none"> - Redisキャッシュを利用したダッシュボード集計処理の高速化を実施 - 年度別データ特性を考慮し、当年度データはRedis、過年度データはDB参照へ分離するキャッシュ戦略を設計 - データ依存関係を考慮したキャッシュキー設計を実施 - キャッシュ整合性を考慮した例外処理およびデバッグ通知フローを構築 - 集計処理負荷の軽減およびダッシュボード応答速度改善に貢献
利用技術	MySQL / Redis / NestJS
プロジェクト名	燃料使用量データ収集自動化基盤構築
期間	2024年03月～2024年04月
職種	バックエンドエンジニア
役割	メンバー
チーム規模	1-10人
プロジェクト詳細	<ul style="list-style-type: none"> - Seleniumを利用した燃料使用量データ収集自動化システムを構築 - Linux環境上でNode.js + PM2を利用した自動化プロセスを運用 - MySQLテーブルの定期ポーリングによる非同期ジョブ処理基盤を実装 - APIサーバーとスクレイピング処理を分離し、自動化処理の独立運用を実現 - 顧客アカウント認証を含むスクレイピング処理およびデータ取得フローを実装 - 定期実行・キュー処理を通じたデータ収集業務の自動化を推進
利用技術	MySQL / AWS / Linux / Node.js / Selenium
プロジェクト名	個人移動向け炭素排出管理アプリ開発
期間	2023年11月～2024年02月
職種	バックエンドエンジニア
役割	メンバー
チーム規模	1-10人
プロジェクト詳細	<ul style="list-style-type: none"> - バックエンド領域を単独で担当し、API設計・実装およびDB設計を実施 - Notion上で作成したAPIドキュメントを通じて、海外開発チーム（スリランカ）と仕様共有・連携を実施 - AWS Elastic Beanstalkを利用したアプリケーションのデプロイ・運用を担当 - Security Group、IAM Role、VPNなどAWSネットワーク・セキュリティ設定を実施 - ユーザー設定をもとにした定期データ生成処理を構築 - データ生成方式を見直し、大量データ処理のパフォーマンスを改善
利用技術	MySQL / AWS / GraphQL / NestJS / TypeORM / AWS Elastic Beanstalk

プロジェクト名	炭素排出管理SaaS開発
期間	2023年03月～2023年11月
職種	バックエンドエンジニア
役割	メンバー
チーム規模	1-10人
プロジェクト詳細	<ul style="list-style-type: none"> - オープンイノベーション向け炭素排出管理SaaSのバックエンドおよびインフラ構築を担当 - 少数チームにて、サービス立ち上げフェーズから設計・実装・運用まで一貫して対応 - MySQLを用いたDB設計、NestJSによるREST API設計・実装を担当 - JWT認証、Guard、Roleベースの認可機能を実装 - AWS LightSail、Pleskを利用したサーバー構築・運用およびWebhookを利用した自動デプロイ環境を構築 - HTTPS/SSL設定、DNS管理、アクセス制御、監視、バックアップ対応など運用を考慮したインフラ管理を実施 - 実際に顧客が利用するSaaSを、少数体制の中でゼロから構築・運用した経験
利用技術	MySQL / AWS / GraphQL / NestJS / TypeORM

■テクニカルスキル

プログラミング言語

- JavaScript
- TypeScript

フレームワーク / ライブラリ

- Node.js
- React
- GraphQL
- Next.js
- NestJS

クラウドサービス

- AWS
- Vercel
- Supabase

データベース / データストア

- MySQL
- PostgreSQL
- Redis

インフラ / DevOps / ミドルウェア

- Docker

OS / プラットフォーム / 仮想化

- Linux

ツール

- Playwright

■自己PR

私は、単に機能を実装するだけでなく、システム全体を通じて課題を解決することにやりがいを感じるバックエンドエンジニアです。

これまでAPI・DB設計を中心に、ERP連携、インフラ移行、OCR・AIを活用したデータ処理基盤の構築など、システム全体を意識した設計・開発に携わってきました。課題に対して技術を選ぶのではなく、「どうすれば継続的に価値を提供できる仕組みを作れるか」を意識しながら開発を進めています。

また、Claude CodeをはじめとするAIツールも積極的に開発へ取り入れ、設計・実装・リファクタリング・ドキュメント作成など、開発プロセス全体の改善にも取り組んでいます。

今後は、より大規模なプロダクトや複雑なドメインに携わり、システム設計を通じてプロダクトとチームの価値向上に貢献できるエンジニアを目指しています。

Portfolio: <https://bswebdev.dev/>

以上